

# 持続可能な経営基盤の構築

## 市場運用

▶基本テーマ4 | 経営基盤強化に挑戦



市場国際部長 岡 誠

国内金融市場が「金利のある世界」へ本格的に転換していく中、当行の市場運用は金利リスクの抑制を最優先に、金利上昇局面への機動的な対応につとめてまいりました。併せて、保有資産の分散・質の向上を図ることで、有価証券ポートフォリオの改善に取り組んでまいりました。

今後は、保有資産の質をさらに高めるとともに、運用利回りの向上を意識した戦略的なポートフォリオの再構築に取り組むことで、中長期的な視点で当行の財務基盤を支える安定した市場運用を実践してまいります。

## 基本方針

当行の市場運用は、「財務を支える安定した市場運用」をありたい姿として定め、金利リスク・流動性リスクの適切なコントロールに寄与するALM機能、及び地域のお客さまに対して金融仲介機能を発揮するための安定的な収益貢献を重要な機能として位置づけ、4つの基本指針に基づき業務運営を行っています。

### 基本指針 1 収益安定化

マーケット要因に左右されやすいキャピタル益に過度に依存せず、キャリア中心のポートフォリオを構築することで、安定した収益の獲得を図る。

### 基本指針 3 健全性の維持

ポートフォリオの質を高めていくことで、市場のストレス時に備えて耐性を高める。

## ありたい姿

財務を支える  
安定した市場運用

### 基本指針 2 リスク安定化

市場環境の現状と先行きを踏まえた、ポートフォリオの最適化と分散投資により、ポートフォリオのリスク低減を図る。

### 基本指針 4 機動的なALM

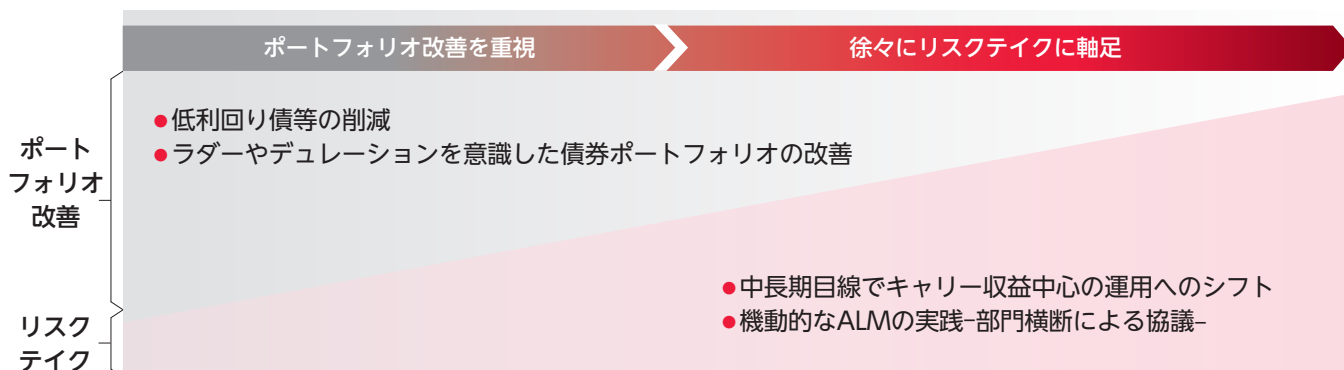
預貸ギャップを捉えた機動的なALM運営を実践するため、リサイズが可能となる有価証券ポートフォリオの流動性を確保する。

## 金利上昇局面におけるポートフォリオの構築

「金利のある世界」への転換期において、ファンダメンタルズの中長期的な判断に基づき、キャピタル益に過度に依存しないキャリア中心のポートフォリオ構築をめざし、全体最適を見据えた有価証券運用を行ってきました。

今後も国内金利は緩やかに上昇していくことを見通す中、デュレーションリスクの抑制とラダーの平準化を意識したポートフォリオの更なる改善を進めつつ、徐々にリスクテイクに軸足を移していく方針です。

## ◆中期経営計画期間中の投資方針のイメージ

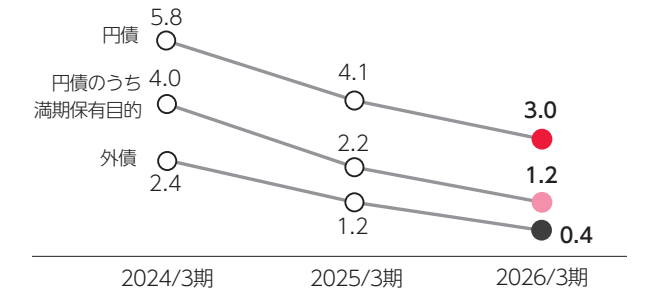


## ◆種類別有価証券残高の推移

(億円)

|      | 2024/3期 | 2025/3期 | 2026/3期 |
|------|---------|---------|---------|
| 合計   | 11,188  | 11,913  | 10,564  |
| 国債   | 180     | 1,975   | 1,895   |
| 地方債  | 4,279   | 4,048   | 3,376   |
| 社債   | 2,043   | 1,711   | 1,390   |
| 株式   | 1,533   | 1,405   | 1,744   |
| 投資信託 | 1,922   | 1,501   | 1,029   |
| 外国証券 | 1,228   | 1,272   | 1,128   |

## ◆債券の修正デュレーション



## 市場運用態勢の整備

市場運用の機能を安定的に維持するため、フロント・ミドル・バックオフィスの各部門においてリスクテイクに見合った適切な人員を配置し、効率的な業務運営を行っています。また、行内留学制度やメガバンクへの外部トレーニー派遣、リスクキリングサポート制度による高度専門資格の取得支援など、次世代を担う人材の確保・育成にも積極的に取り組み、変化する市場環境に柔軟に対応できる強固な市場運用態勢の維持・高度化を着実に進めています。

## コストコントロール

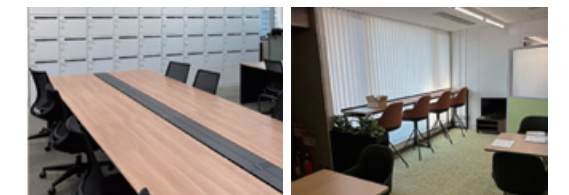
## 成長分野への重点投資と経費効率化

中長期的な視点のもと、地域社会と当行グループの持続的な成長を支える分野に経営資源を重点配分する、戦略的なコストマネジメントを推進しています。具体的には、業務効率化・顧客利便性の向上を目的としたDX、脱炭素社会の実現に向けたGX、人的資本への投資など、サステナビリティの向上に直結する分野への重点投資と、その他経費の効率化を通じて、メリハリのある経費運営を徹底しています。併せて、店舗の美化・改装や設備の刷新にも継続的に取り組むことで、お客さまの満足度向上と職員のエンゲージメント向上を図り、当行グループの競争力強化につなげてまいります。

## ◆「環境価値」創出に向けた投資

| 省エネ                                                                            | 創エネ                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●照明のLED化</li> <li>●空調機器の更新</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●店舗のZEB化</li> <li>●太陽光発電設備の設置</li> </ul> |
| 蓄エネ                                                                            | 調エネ                                                                             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●蓄電池の設置</li> <li>●EV/HV車への切替</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●店舗のZEB化に合わせたEMS等の設置</li> </ul>          |

## ◆お客さま、職員のウェルビーイングを実現する職場環境の改善



デスクを刷新した執務室

簡易な休憩に使用できる談話室

## 事業者への伴走

リレーションシップバンキングの深化を通じて取引先との緊密な関係をより一層強化し、物価高騰をはじめとする経済環境の変化が取引先に与える影響を最小限に抑えることで、与信関係費用の抑制につとめてまいります。



### 重点支援先 拡充

### 早期予兆 管理

### 外部連携 強化

- 事業者の課題に基づく深度ある対話
- 本部と営業店との連携強化

- ガイドラインや資金トレース表を活用した基本動作の徹底
- 審査AIモデル等、各種ツールの活用

- 円滑な事業再生等に向けた経営改善支援や事業者支援を行う
- 行内人材の育成のための外部との連携